

3 豊かな心の育成推進プラン

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○復学後を見据えて、一人ひとりに寄り添い、安心して学べるように指導と支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の病状や実態に応じた教育の充実を図ります。 ・様々な経験を通して、多様性を尊重し、人とのつながりを大切にする心を育みます。 ・保護者、医療、前籍校、関係機関との連携を深め、在籍から復学まで一貫した支援を行います。 ・GIGAスクール構想を推進し、情報活用能力を育成します。 ・センター的機能の充実を図り、病弱教育の取組について積極的に発信します。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

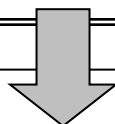
重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>①子どもに寄り添い、個に応じた活動を通して安心感を高め、主体的に生きる気持ちを育む。②行事を含めた様々な集団活動への参加を通して、自分の役割と責任を自覚しながら活動しようとする態度を育てる。また、他者と関わる経験を積み重ね、互いの良さや違いを認め合い、社会の中で共生する気持ちを育む。</p>
担当	各経営部

2 児童生徒の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校に在籍する子どもたちはさまざまな病気をかかえている。疾病の種類は、精神疾患、行動障害、血液疾患、感染免疫疾患が多い。在籍期間は短い子どもで1週間未満、長い子どもでは2年以上に及ぶ。病気であることや、入院・在宅療養ということから、積極性、自主性、社会性が乏しくなりやすい傾向にある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

- ・学校生活を通して自分自身を見つめ、個性や長所に気付き、主体的に取り組む姿勢を育てる。
- ・集団活動への参加を通して、自分の役割と責任を自覚しながら活動しようとする態度を育てる。
- ・ICT 機器などを活用して他者との関わる機会を作り、社会の中で取り組む姿勢を育てる。



「道徳的要素の充実」

道徳的要素をいろいろな学習活動に取り入れることにより、自分を深く見つめ、前向きに、よりよく生きようとする力を身につけられるようにする。

「体験活動の充実」

異学年合同で行う行事や自立活動の中での体験を通して、責任感や思いやり、協力する心を育てる。

「豊かな感性や情操の育成」

芸術や文化にふれたり、多くの人とふれ合ったりすることで、豊かな感性や情操を育む。テレビ学習システムを利用した全校朝会などで、各院内学級の児童生徒間の交流を図る。